

ゴールボールを体験しました

(令和4年3月4日・金)

1～2年生の LHR で3月4日（金）、障がい者スポーツである「ゴールボール」を体験しました。

ゴールボールとは、目を隠しながら鈴の入ったボールを転がして、ゴールに入れることで得点をする視覚障がい者の球技で、障がい者スポーツのひとつです。

当日は、最初に滋賀県ゴールボール協会の会長の西村秀樹様から、ゴールボールに関する講話をいただき、その後生徒はアイマスクをした状態で実際にボールを投げたり止めたりする体験をしました。最後に、講師の西村様が、「視覚障がい者は腕時計でどうやって時間を知るのか」など、視覚障がい者の具体的な生活についての話をしてくださり、多様性や個性について考えることができる貴重な時間となりました。

